

Camponotus sylvaticus

(Olivier, 1792)

脚が長く、赤と黒の体色をした地中海のオオアリで、暗くなると手の届かないところへ駆け出し、大きなコロニーに育つまでに数年の辛抱が必要です。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

22-28 °C

巣の中



巣の湿度

40-60 %

巣の中



休眠

8-14 °C

11月 - 2月



結婚飛行

6月 - 8月

暑い日, 湿度が高い日



働きアリ

6-12 mm

大型働きアリは最大15 mm



女王

14-17 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ5,000匹規模

成長速度：普通

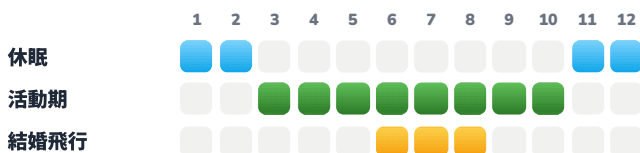


脱走リスク

高い

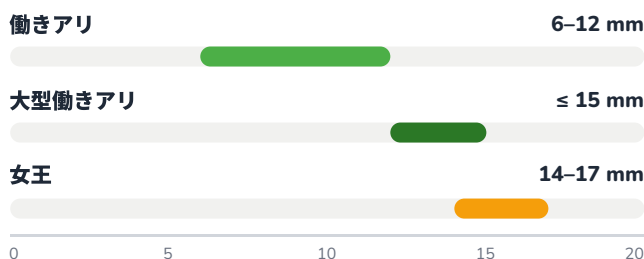
脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- アクリル製の巣
- 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です

飼育者からのメモ

ヒント

立ち上がりはとても遅いと考えておきましょう。ある長期飼育のコロニーは、1年目のあとは育児担当の働きアリが約15匹だけで、2年目の初めに約50匹、2年目の終わりには数百匹になり、それ以降は毎シーズン、より大きな巣とはるかに多くの餌が必要になりました。

注意

働きアリは脚が長く、非常に素早く動きます。ある飼育者は、脱走防止のコーティングの上をすいすいと越えていくのを目にし、蓋を開けるたびに多くを失いました。餌やりは小さな出入り口から、または連結した採餌用ケースから行い、バリアは2つ目のバリアで二重にしておきましょう。